

【取組内容③】 児童・生徒の日常的な心の変化を捉える心の健康観察のアプリの活用

目 標

「すべての子どもたちが輝く」の市の思いを実現するために児童・生徒の心の変化を捉える仕組みをICT活用で構築する。さらにそのデータ活用のシステム化に取り組む。



吉川市においても小・中学校における「不登校」が喫緊の課題である。その対策の一環としてICTを活用していく。

そこで...

普段の子供たちの心の状態を少しでも把握できるようなICT端末を活用し「不登校サイン」やその他「友人関係」や「学校への不安」などを素早くキャッチし、そのデータを共有するツールがあれば、教職員の児童・生徒に対する指導の手助けになるのでは、と考えた。

心の健康観察アプリ



心の健康状態の回答はスプレッドシートで毎日蓄積されていく。

先生に相談が「ある」と答えた児童に対して声かけすることができた。

心の状態を4種類に分けて表示。Googleフォームで投稿したら回答する。登校した回答はスプレッドシートに集計され、心配な回答は色を付けて表示される。また、「先生に伝えたいことがある」欄を設け、記述しなくても心配事を教員に伝えられるようにしている。

2. 今の気分が一番近いものはどれですか？
1つだけマークしてください。

わくわく

まあまあ

いまいち

つらい

いまいち	まあまあ	まあまあ	まあまあ	まあまあ
なし	なし	なし	なし	なし
今は無い	今は無い	今は無い	今は無い	今は無い
まあまあ	まあまあ	まあまあ	まあまあ	まあまあ
なし	その他	まあまあ	その他	その他
今は無い	今は無い	今は無い	今は無い	今は無い

このデータから教職員の声かけにつながる事ができる。さらに教職員への通知機能が望まれる。